



申11号

年末手当

基準内賃金の

3.18ヶ月

昨年同月数で妥結!

この間の団体交渉における会社回答への職場の受け止めは、「抑えることに唯一の価値観を置いているようだ」「これだけ利益を上げてても手当は上がらないのか」等モチベーション低下が危ぶまれるものでした。本日の交渉の場において、期末手当の性質上、期間中の業績に対して公正な成果配分をすること、定額5万円要求の問題意識は依然持っており、継続した議論が必要であることなど、改めて私たちの主張点を明確にしました。

一方で、回答書では「相次ぐ災害からの復旧と業績の確保に全社員が丸となって奮闘努力していることを受け止める」ことが明確にされました。平均年齢の低下に伴い、平均支給額も低下していますが、春闘などの賃金引き上げなどによって、個人の支給額は昨年度よりも増加しています。私たちの要求には届いてない回答内容ではありますが、この間の労使議論の積み上げを踏まえて判断し、本日妥結しました。

【支給日】12月4日(水)以降、準備でき次第
【平均社員数】51,400人(対前年△1,600人)
【平均年齢】40.1歳(対前年△0.8歳)
【平均支給額】1,075,000円(対前年△7,000円)
【平均基準内賃金】338,198円(対前年△2,210円)



職場からの多くの激励ありがとうございました!